

今月のテーマ 「冬の思い出」

冬といえば「みかんにこたつ」でしょうか！

私はみかかんを箱買いする家で育ったので、冬になればみかかんを段ボールで買うのは普通のことと思っっています。夕食後こたつを囲んでテレビを見ながらみかかんを食べる、家族のだんらんとしては最高ですよ。

さて、このみかかんの皮のむきかたはいろいろな方法があるようで、同じ家族でも十人十色でした。軽くもんでからむいたり、へたから螺旋状にむいたり、下から放射線状にむいたり、とてもきれいにアルベド（白い筋）を取ったり。小さい子や高齢の方の場合は缶詰のように中の皮までむいて食べた方が食べやすいし・・・。

誰か一人が包丁でみんなの分の皮をむかなければならない果物と違って、自分で皮をむくので十人十色は当然かもしれません。でも自分で皮をむけるから、みんな同じ時間にこたつで食べられるのだと思います。味が好きなのももちろんです、私はそんなみかかんが大好きです。

(鞍作)

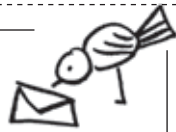
私は幼少時代父親の実家で育ちました。雪が多い地方で多い時には玄関を開けると雪の山で、雪の階段を作り道路に出たものでした（今は暖冬のおかげでそのような光景はないようです）。外で思い切り遊ぶ事も出来ず、家の中で猫を相手に遊ぶのが日課で子供ごころに冬が嫌いでした。

雪解けが始まる頃には、待ち遠しくて一目散に外に飛び出しましたが、雪解けに滑って転ぶので洋服がびしょ濡れです。着替えてはまた転びを数時間の内で4回も繰り返しました。4回目には我ながら「しまった、またやってしまった」と思いました。案の定母も堪忍袋の緒が切れて、ついには外出禁止命令が出てしまいました。

当然の事ですが、当時は洗濯機もなく冷水で手洗いをしなければならぬ時代。自分が親となった今、母はさぞや大変だったろうと思えます。今となつては直接伝える事も出来なくなりましたが、晩冬の候の時期になると思いだし、心である時はごめんさいと感謝の気持ちを伝えています。
(ヤンチャな娘)



投稿大募集



次回4月号のテーマは「春の思い出」です。エピソード、詩、俳句などを300字程度で投稿して下さい。

- ★締め切りは2月29日必着です。
- ★文章を編集部で整理させていただく場合がありますので、あらかじめご了承下さい。
- ★投稿には住所、氏名、年齢、電話番号、ニックネームを明記の上、郵便、FAX、Eメールで下記まで
郵便 /158-8531
東京都世田谷区上用賀 6-25-1
「緑のひろば 緑のテラス 係」
FAX/03-3426-0326
E-mail/keiei-kikaku@kanto-ctr-hsp.com

※個人情報の取り扱いについて
ご記入いただいたお名前、ご住所、電話番号、メールアドレスなどの個人情報は「緑のテラス」への掲載と掲載誌の発送以外には使用いたしません。個人情報の取り扱いについては「個人情報について」をお読みください。
http://www.kanto-ctr-hsp.com/about_kch/privacy_policy.html

冬といって思い出すのは、以前友人と行った白川郷旅行です。寒いところが冬の苦手なので、雪に覆われた地域に行くのは気が引けましたが「世界遺産の合掌造りが見たい！」という友人に連れられて行くこととなりました。どれくらい寒いのだろうか？全く想像がつかず、コートにマフラー、カイロを沢山持って準備万端の大荷物で出かけました。旅行先に到着すると、見渡す限り雪ばかり。自分の背丈を超すほど降り積もった雪を見たのは初めてで、一面の銀世界に友人も私も大興奮でした。夜になってライトアップされた合掌造りはとても幻想的で、寒さを忘れてしまうくらい綺麗でした。そんな景色を見ながら飲んだ甘酒の美味しさは、今でも忘れられません。毎年冬になると、また見に生きたいなと景色を思い出します。
(せたがやっ子)